

健康保険組合

事務局長 田村 裕彦

人事

令和2年(2020年)の人事異動は特になし。常勤2名、パート1名でこの1年を経過してきたが、本来常勤3名が当初の定数となっているため、2019年の常勤スタッフ1名の移動後からはパートスタッフには負荷をかけた状態である。昨年の年報ではスタッフの補強が急務と言いつつも、それが実現できていないことは反省すべき点と思う。また、2年後に1名が定年を迎えるため、それに備えた人員補充を考えていかなければならない。組合は国の出先機関の役割も持っているため、人員計画においても、基本業務である「適用」「徴収」「給付」の各業務は互いに相互監視できる体制にしておかなければならない。小さな事務局で大きな金額が動くため、事故防止の観点から、どの業務においても一人で完結できるような仕組みがあってはならない。一般企業から見ると非効率とか、逆に人員過剰に見えることもあるかもしれないが、公法人であることや、自分たちの人件費がどこから出ているかを常に意識するようにしている。それは被保険者と事業主から徴収した保険料であり、紛れのない公費である。ゆえに日中の作業効率を上げることは勿論、残業その他の経費などもむやみに増やさないと、そして組合会で承認を得た予算内に納まるよう、意識した働き方、人事計画が必要とされている。

組合会議員においては選定議員を永く勤められた明神和弘さんが2020年3月31日に辞任され、後任として戒正司さんが選定された。議員定数14名で欠員なし。参照(表1)(表2)

徴収・収納・経理・他

保険料は本年度4月徴収分より8.309%で一般保険料においては8.16%で据え置き、調整保険料が0.009%引き上げられ0.149%となった。調整保険料とは、各健保組合が健康保険組合連合会本部に払う保険料で、一定の計算式のもと、健康保険組合連合会本部から料率の決定通知で決まるもので、毎年僅かながら変動がある。用途は財政困窮組合への支援や、各組合の高額療養費への補助として使われる相互扶助的な役割を持つもの。昨今の傾向として、高額療養費は非常にその該当確率は高くなってきており、当組合も本部から毎年対象の補助金をもらっている。

40歳以上が対象となる介護保険料では、前年度と同じ1.69%ではあるが、今年は昨年度0.5%引き上げたことで、何とか小康状態を保っている状況と言える。保有している介護準備金は、そう多くはないが、一般勘定など他の目的に使うことができないため、今後の介護勘定の赤字補填に使うしかなく、それにより介護保険料の引き上げを少しでも先延ばしできるように計画している。来年度はおそらく介護準備金を取り崩しながらの状況になると予測しており、2~3年後には再度介護保険料率を少し引き上げしなければならなくなるのではないかと考えている。人口の年齢構成を見ても、しばらく介護保険にかかる費用が下がる要素は見当たらない。

収納に関しては事業主、被保険者の協力で未収等もなく順調に執行できている。

経理に関しては、6月24日、25日の両日に内部監査を実施した。事務局の自己点検シートを

もとに、監事の視点からも、前回の行政監査の指摘事項を踏まえた確認作業が行われた。3月3日に2019年度の第2回組合会を開催し、2020年度の予算案と事業計画案が承認された。8月には2020年度第1回組合会が開催され、主な議案は2019年度の決算報告と事業報告であったが、決算においては約5,900万円の収支差額が発生。5千万を次年度に繰り越して残額を別途積立金とした。10月には仮決算報告として9月末時点での預金残高表、保有財産値を書面で提出し承認を得た。

12月時点ではまだ本年度末の収支を明記することはできないが、前年度繰越金5千万円があるため、今後何もなければ昨年並みの収支が見込めるのではないかと考えている。

保健事業

2020年の保健事業活動としては、1月から3月までは事業計画上2019年度に属するものとなるが、1月には郵送検診の大腸がん検診を実施。2月はホームページのリニューアル、広報誌の作成にデザイナー介入で打ち合わせを始めた。このころ保健事業のアウトソーシング化について具体的検討を開始した。3月は組合会を開き、予算編成の承認を得る。AICS（がんスクリーニング検査）で近隣医療機関に手間をかけさせていることがわかり、一時的に実施を見合わせ運用の再確認を行う。3月末にて明神センター長が議員辞職。

4月には戎センター長が明神議員の後任として選定議員となる。母体入社式では毎年社会保険や健保組合についてオリエンテーションをしていたが、入社式の簡素化により実施せず、代わりに社会保険の手引きを参加者全員と各部署の所属長に配布した。また、4月にはコロナ感染者の増加により非常事態宣言が出され、特定健診、特定保健指導、スポーツジムや日帰り温泉などの保健事業を見合わせとなる。5月には保健事業推進委員会が開催され、前年度の特定健診、特定保健指導の実績が報告され母体事業所との共有を図った。6月には予定していた業務システムのOS入替を行い、安定稼働に向けた整備を行った。また、非常事態宣言が解除され自粛が緩和されたため、被扶養者を対象に特定健診無料セット券の配布を行ったが、例年になく低調な反応であった。

7月にはスポーツジム等も感染対策を行ったうえで再開され始めた。健康管理センターからは、特定保健指導については面談が伴うことから、本年度の実施は見送る事になる旨連絡があった。そのままでは指導件数が0件になる事が危惧されるため、高知連合会に保健師の派遣を依頼し、数名だけでも指導実績を残すようにした。

10月から、かねてより検討中であった保健事業のアウトソーシング、母体の福利厚生強化も兼ねてリクラブに加入した。当初の予定は2021年4月であったが、高知市内で新たに加入する大きな団体が2つあり、タイミングを合わせることで会費が大幅に安くなるため前倒しとなった。そのため、事業種によっては契約中のものもあり、3月までは併用できるものも発生している。また10月からは保険証に枝番が付加されることになり、当組合では新たな発行分から順次対応することとした。ジェネリック通知や資格検認の通知を行った。11月には広報誌発行。資格検認作業を行う。12月は保健事業アンケートを実施。その集計は同月の保健事業推進委員会で公表され、母体事業所と情報を共有することとなる。

主ながん検診は次の通り（2019年度実績数）

大腸がん 85 件、胃がん 28 件、乳がん 174 件、子宮頸がん 229 件、A I C S 30 件

総括

今年は何といても、コロナ禍の影響が大きく、保健事業の中でも重要な特定健診・特定保健指導について大きな影響が出た。特に特定保健指導では、ここ数年、母体法人の健康管理センターで精力的な特定保健指導活動をしてきていたが、面談必須という性質上、20 分以上の面談は濃厚接触となるため、感染拡大防止の観点から、本年はその活動を見送るとの連絡があった。組合としては、対策をしたうえでの実施が求められているため、母体以外の外部を利用した指導しか方法はなく、健康保険組合連合会高知連合会に依頼し、専属保健師 2 名の派遣を得た。この状況下で特定保健指導を実施できたのは非常に有難いことであった。実施数についてはかなり少なくなってしまうが、今年はやむを得ないものと思っている。また、4 月の非常事態宣言を受け、利用数が高かった日帰り温泉や、スポーツジムの利用も休業や自粛で事業を見合わせる事となった。宣言解除とともに少しずつ戻りつつあったが、第 3 波による感染拡大で、12 月には再び見合わせざるを得なくなり、収束を見通せない状況下での事業展開がしばらく続くと思われる。

検診事業においても、歯科検診が早い段階で中止が決定し、被扶養者の特定健診も見合わせ状態となったため、6 月に自粛が解けた後に無料セット券を配布したものの、実績数は厳しい数値となっている。こういったなか、12 月に入って厚生労働省保健局保健課より嬉しい知らせが入った。「令和元年度後期高齢者支援金の減算対象保険者への該当見込み」の通知が届き、当組合が目標としていたものが達成できた。詳細は本文では割愛するが、厚労省の定める基準をクリアできたということで大きな励みとなった。また、母体事業所、特に健康管理センターには多大なご協力をいただき感謝します。

給付について少し触れると、現物給付である医療費に関しては特段の懸念材料はない。月により多少予算額をオーバーすることもあるが概ね良好といえる。今年には特に前期高齢者納付金が無かったため経理上はとても楽な一年であった。ただ後半にはその前期高齢者の医療費が多かったことから、2022 年度の前期高齢者納付金は油断できない値になって返ってくると思われる。

コロナ禍により健保組合はもとより、全国的には事業主側の多大な影響が懸念されている。経済の下降により営業収入がままならない状況下においては、業種にもよるが、昇給、賞与、さらには採用数まで縮小や中止が発生しかねない。そうすると健保組合では保険料収入が大幅な減となるため、たちまち保険料アップや更には解散に追い込まれることも現実味を帯びてくることになる。幸い当組合母体事業所ではそのようなことは無いが、多くの組合で少なからず影響が出るのは間違いない。早く収束してもとの活動に戻れることを切に願っている。

議員一覧と事務局

表 1 健康保険組合 組合会議員一覧

2020. 12. 31 現在

	選定議員	互選議員
理 事	(理事長) 近森正幸	八木 健

理 事	(常務) 寺田文彦	吉永富美
理 事	岡本充子	小笠原正
議 員	戎 正司	筒井由佳
議 員	和田恵美子	野瀬秀二
議 員	鄭 明守	小林史典
監 事	小松左和	武内章二

表 2 近森会健康保険組合 事務局

事務局	
事務局長	田村裕彦
主 任	五藤綾美 井門加織